



図書館も応援してくれています！

SAKURA



お互いに守り合う！

「まん延防止等重点措置」発出 (今日から2月13日(日)まで)

新型コロナウイルス感染症の猛威は衰えず、連日、最多感染者数が報告されています。三重県でも昨日は364人の新規感染報告がありました。伊勢市の小中学生や学生の感染者も増えています。すでに、3年生は受験に突入しています。来週は、伊勢学園高校・皇學館高校・三重高校等、地元の私立高校の入試が続きます。本当に、大事な時期にさしかかりました。

学校では、さらに手指消毒の箇所を増やし、換気を念入りにしています。HPでも紹介した通り、学級人数の多い1年生は教室のドアをはずし、再度オープンスペースにしました。少しでも暖かくなるように丸ストーブを2ヶ所ずつ設置しましたが、十分とは言えない中で子どもたちは我慢してくれています。

なかなか収束の気配がない新型コロナウイルス感染症ですが、頑張っているみんなのところに必ず春は来ます。

やるべきことを続けて負けずに進もう！



がんばっています！3年生☆

私立・県立・高専等の面接練習が始まっています。すでに本番を終えた人もいて、3年生は受験(検)モードです。何人かの面接官をしましたが、どの人も「志望した理由」「将来の職業」「中学校生活で思い出に残ったこと」「部活動で印象に残っていること」など…どの質問にも誠実に答えることができていて感心しました。さすがです！

コロナ禍の中ですが、体調を整えてどの人も実力を出し切ってほしいです！



ストーブを設置
少し我慢を！

【重要】保護者の皆様へ①

◆新型コロナウイルス感染症について、お子さんやご家族に「風邪症状がある」、さらに「PCR 検査の対象となった」「濃厚接触者の指定を受けた」「念のため休ませたい」等、欠席連絡をきちんと入れていただいております。お子さんはもちろんのこと、他の子どもたちも守っていただいております、感謝の気持ちでいっぱいです。

◆お子さんの「学びを継続するため」、学校に欠席連絡をいただいた際に、授業配信を希望される場合は遠慮なくお申し出ください。定点撮影ではありますが、主に5教科について、9月のオンライン授業と同じ方法で授業を配信することが可能です。(ただし、授業配信の視聴は出席扱いにはなりませんのでご了解ください。)

【重要】保護者の皆様へ②

◆市教委から「PCR等検査無料化事業の周知について」依頼文書が届きました。「ワクチン検査パッケージ制度等定着促進事業」と「感染拡大傾向時の一般検査事業」の2つの事業について案内されています。ぜひ、三重県のホームページにアクセスしていただき、内容をご確認いただきたいと思います。

※PCR等検査無料化事業に関するホームページ：

<https://www.pref.mie.lg.jp//KANSENJO/HP/m0348600013.htm>

I'm OK! 「いのちの授業」1月11日(火)

心に残る大事な話

冬休み明け早々に、思春期保健相談士の中谷奈央子さんをゲストティーチャーにお迎えし、「いのちの授業」をしていただきました。中谷さんは県内のたくさんの学校で、思春期の子どもたちに「こころとからだを大切に」という温かいメッセージを込めてお話をしてくださっています。ぜひ、伊勢宮川中の子どもたちにも聞かせていただきたいと思います。12月にお願いしました。中谷さんは、快く引き受けてくださいました。

思春期まっただ中の1,2年生のみんなは、きっと自分の心と体のこと、友だち関係のこと…いろいろな悩みを抱えていると思います。お家の方や先生たちにもそんな時期がありました。今となつては笑い話で話せることも、その頃は真剣に悩み、困り果てていたことも思い出します。でも、時間とともに一つ一つ乗り越えてみんな大人になっていくのです。中谷さんも自身の思春期の頃の「自分が嫌いだった。」という思いを話してくださいました。自身の経験や学んだことをもとに、思春期のみんなが「ハッピーに過ごすため」の魔法の言葉をたくさん教えてくださいました。

☆I'm OK! (だめなところもいいところも含めて世界に一人しかいない大切な自分)

☆You are OK! (あなたはあなた。考え方も感じ方も違うことがすてき)

そして3つのSのことです。「(正しいことを)知る事・相談すること・尊重すること」がキーワード。自分の「からだ」と「こころ」を大切にすることこそが、大人になっていく今、必要な準備だということがよく分かったと思います(^)/



1年生人権フォーラム 1月11日(火)

立派です☆1年生!

市内中学校の2人の人権作文をもとに、自分の意見をまとめ、次にグループで交流し合う機会をもちました。学級代表や12月に伊勢市中学生人権フォーラムにオンライン参加をした学年代表が中心になって進めました。

司会・コメンテーター・マイク係の担当を決めての本格的な進行でした。学年の野呂先生は、「ピリッとした中にも意見を引き出す雰囲気があり、取組の姿勢も真剣でした。確実に次回につながるものだと感じました。」と感想を聞かせてくれました。

「自分を大事にすること」「周囲の人(仲間)を大事にすること」を再確認できた時間になったようです。